

新西町内会広報

発行責任者
小関 日出男

第30回新町つ子もちつき大会 紅白もちで祝う30回目の大会

今年も「新町つ子もちつき大会」が4日、新町小学校体育館で行われた。

幼児34名、小学生70名、付き添いの父母90名などが参加、総勢で220名を超える盛大なもちつき大会となった。

今回初の試みは、1・2年生が遠足で摘んできたヨモギ入りの「草もち」と、6年生



が授業で育てた黒豆を入れた「豆もち」。どちらもよく出来たと話題になった。

4月に赴任した校長先生は前掛け姿でもち作りにも加わり、生徒に声をかけていた。

黒豆を育てた6年生の田村君は児童会を代表して挨拶。

豆もちを食べて、「豆と、もちって合いますねー」と大人びたコメント。

きな粉、みたらし、ごま、あんこ、納豆、汁粉を盛ってもらう子、食べる子、孫より小さい子供たちを見つめ微笑む町内会の人、人・・・。

つく人、合い取りの人、蒸し上がったセイロを運ぶ人、米を蒸かす人、みんなみんな子供たちに想い出をプレゼントしたい気持ちがあふれていたからできたはず。

(小関)

(上段右から) 幼児のもちつき、できたての紅いもち
(下段右から) 会場光景、味付け、美味しいと子供達



《特集》住民意識アンケート調査

結果あらまし(下)のお知らせ

前号の続きです。設問12から設問15までの結果について概要をお知らせします。

12. 災害時における 援護の必要性

近年、地震や風水害が頻発していることから、この設問は町内会における自主防災の必要性やその方策を探るため設定したものです。

寄せられた回答をみると、「特に必要なし」が39%で最も高かったのですが、「高齢のため必要」が21%、「身体不自由のため必要」7%などがあり、かなりの必要性が感じられます。

一方で「協力援護が可能」が19%あり、協力・連帯意識の高さを感じられます。

13. 町内会館の利用運用

会館の利用、運用に関し、次のような計22件の意見、要望がありました。

- ・ 会館使用料に関する意見
- ・ 若者でも参加できるサークル的な集いに関する要望
- ・ 会館の間口や段差、手すり等の整備に関する要望
- ・ 予算と時期を勘案した上での改装に関する意見
- ・ 幼児のためのイベント等を企画してほしいとの要望
- ・ 現状のままでもよいとの意見

14. 住みやすい地域に

地域づくりに関して、次のように幅広い意見、要望等がありました。

- ・ 事業の周知徹底と参加者の拡大を図るべきとの意見
- ・ ボランティア活動と交流の場に関する意見
- ・ ふれあい祭りの復活などで住民間交流を、との意見
- ・ ごみ清掃のマナー、廃品回収の協力に関する意見
- ・ 行事の簡素化や、町内会費、街灯に関する要望
- ・ アパート、マンション居住者への参加促進などの意見
- ・ その他、若い家族の転入を進めるとのユニークな意見など、計29件ありました。

15. 町内会活動について

町内会活動について気付いた点、要望等では、計42件の

回答がありました。

特に、ごみステーション、野良猫、防犯、LED街灯、新規行事、回覧板などに関するものが目に付きましました。

なお、回答欄の随所で若手の発想と参加に期待したいとの記載が多々見受けられました。同様に、高齢化(?)した役員に、たくさんのお礼と感謝の言葉もありました。

上・下2回に分けて調査結果の概要を掲載しました。今号では、意見要望等を掲載してありますが、賛否両論の考え(回答)があることから、分かりづらいところはご容赦ください。

全ての意見、要望等は報告書に掲載されています。閲覧を希望する方は、お近くの役員までご連絡ください。

今後、調査結果の取り扱いについては、各種事業で生かせるよう役員会にて検討の予定です。皆様のご協力に感謝申し上げます。(小野寺)

編集後記

▽小学校のロビーの絵の1枚に「おむすびコロリン」を描いて穴から五線符が飛び出て「コロリンコロリン」とねずみの歌声を連想させるものがあった。▽素晴らしい発想だと、ひなたちゃんに訊くと、劇をしていて思いついたと▽息子も好きで布団の中でよく読んだものだ。30年前のこの▽6回目の干支を迎え、読者の幸多かれと。(小関)